

酪農学園のめざす姿

アクションプラン 2018

—2020 経営計画の取組項目—

目 次

2020 経営計画とアクションプラン2018の 一体的取組について	1
--	---

I 酪農学園のミッション	2
---------------------------	---

II 酪農学園のビジョン	2
---------------------------	---

III ビジョンを具現化するための施策	3
----------------------------------	---

IV アクションプラン	4
--------------------------	---

1 2020 経営計画	4
--------------------------	---

1 学園の経営目標と取組項目	5
2 大学の教学目標と取組項目	6
3 高校の教学目標と取組項目	7

2 アクションプラン2018	8
-----------------------------	---

1 教育	8
2 研究	10
3 社会連携	12
4 国際化	12
5 キャンパス環境	14
6 財務	14
7 組織運営	16

2020 経営計画とアクションプラン2018の 一体的取組について

これまで大きな社会環境の変化として、少子高齢化の急速な進行と人口減少が挙げられています。また、人工知能の活用をはじめとした技術革新が進展し、社会の枠組み自体が大きく変化しようとしています。教育の分野では、現在120万人前後で推移している18歳人口が、2020年予測では117万人とされ、2021年度以降は再び減少トレンドに推移し、2024年には106万人と大幅に減少していくことが挙げられます。

これに対応するため、文部科学省主導による教育改革が進められており、「高大接続改革実行プラン」(2015年1月)は、高大接続システム改革会議「最終報告」(2016年3月)として示され、現在具体的なスケジュールのもとで実行されています。

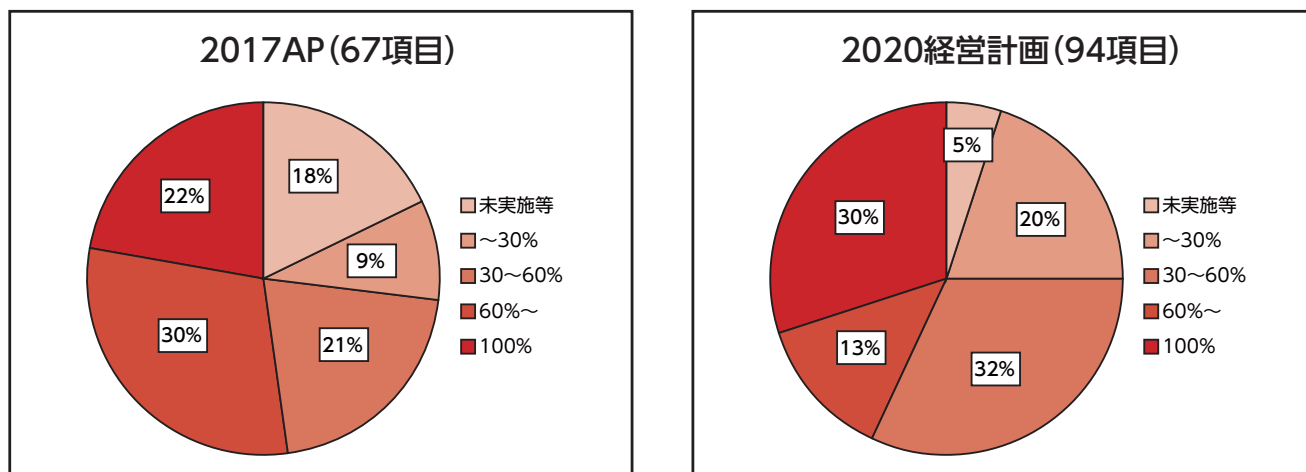
教育改革の振興には大学等への助成制度も活用されています。その一方で、地方創生のための大都市圏への学生集中是正策として、2016年度より入学定員超過に対する私学助成の厳格化、学部設置認可申請の厳格化(2017年開設分より該当)が実施されています。また、2017年5月に文部科学省より発表された「私立大学等の振興に関する検討会議・議論のまとめ」では、私立大学の振興に関する方向性と今後の推進方策が報告され、今後はこのまとめを踏まえた私学助成の充実や仕組みの再構築等が進められていくことが予想されます。今後の18歳人口の減少に加え、定員管理や競争的環境下での補助金制度など、厳しい経営環境に取り組まなければなりません。

酪農学園は、これら一連の改革に対応すべく「酪農学園のめざす姿」の具現化に向け、2013年度に「アクションプラン」を策定し、PDCAサイクルによる全学的・組織的な取組をスタートさせました。さらに、急激に進められている教育改革に対応するため、2015年5月の理事会で「2020年に向けた経営改革～生き残る酪農学園に向けて～」を決定し、経営・教学目標に向けた取組内容を具体化し、早期に取り組む事項として、アクションプランと一体的に取り組んでいます。

2017年度は、各担当部署との協議によりアクションプランと「2020経営計画」との一体的取組についての進捗状況を確認するとともに、日常業務への落とし込みを中心に項目整理・統合を行い、2020経営計画66項目、アクションプラン49項目に集約した「アクションプラン2018」を取りまとめました。2017年度から新コース制がスタートした高校改革については、教学目標と高大接続プラン実行の点検を行いながら、2017年1月理事会で承認された具体的な改革計画を進めているところです。

2018年度以降も、「2020経営計画」を包含した「アクションプラン」に基づき、PDCAサイクルによりさらに取組を推進していきます。

【2017年度 アクションプラン・2020経営計画の進捗状況】



※2017年度アクションプラン126項目中、アクションプラン単独67項目、2020経営計画包含59項目

I

酪農学園のミッション

「三愛精神」・「健土健民」

—建学の精神の本質—

酪農学園は、1933年に北海道酪農義塾として開設し、キリスト教の精神を基にした神を愛し、人を愛し、土を愛する三愛精神と実学教育により人格の完成を目指し、健土健民思想を体得した自営農業者をはじめ多くの有能な人材を送り出し、社会の発展に大きく貢献してきました。

21世紀の世界は、人口の増加、気候変動など環境変化、資源の枯渇、土壌の流亡、生物多様性の喪失などの問題が深刻化し、食料の持続的で安定した確保が大きな課題となっています。

本学園は、この時代の転換期に教育改革を積極的に進め、農業を基盤とした人間教育を中心とする建学の精神の更なる具現化を使命とします。

そのために、実学教育を基本とする「農・食・環境・生命」の教育を通じて明日を切り拓く「力」を育て、地域と世界の継続的な発展に貢献する人材を送り出します。

II

酪農学園のビジョン

明日を切り拓く「力」を育てる教育研究の実現

—自ら探究し実践する人材を育成するフィールド—

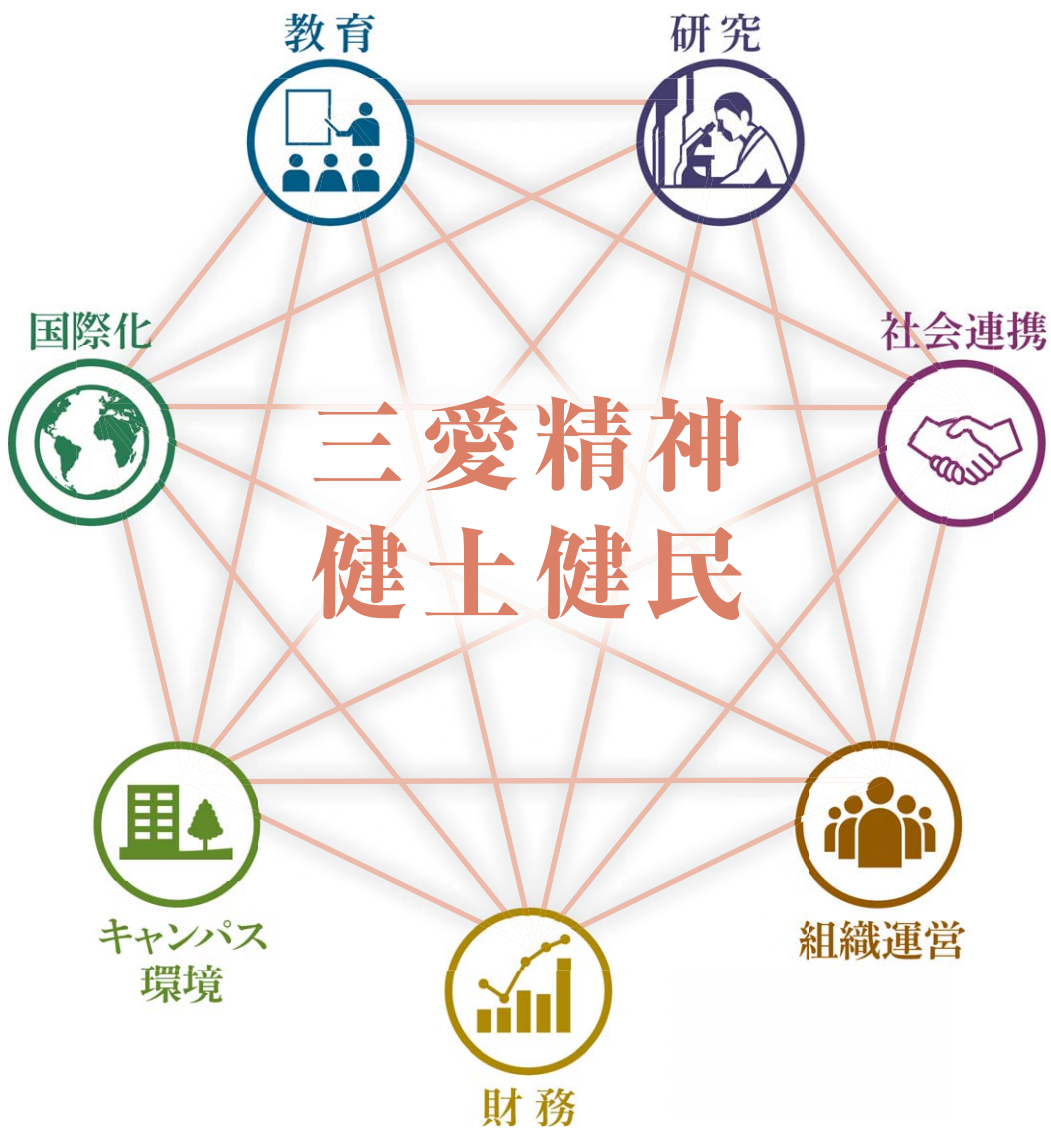
建学の精神に基づき、学園に集う皆が地域の発展と世界の平和に貢献する有為な人材となるよう努めます。

地域から世界まで広いフィールドで活躍できる「力」を育てる教育研究を実践します。

- 1 地域と世界を繋ぐ人材育成の拠点とします。
- 2 多様なフィールドに役立つ強い「知」の創造拠点とします。
- 3 異文化が交わる共生社会のネットワーク拠点とします。
- 4 個性が輝くライフワーク拠点とします。
- 5 継続的発展のために、たゆまぬ改革に取り組みます。

III

ビジョンを具現化するための施策



教育

地域と世界を繋ぐ人材教育
世界のフィールドへ羽ばたき、地域の中核となる人材育成

研究

地域と世界のフィールドに貢献できる研究推進
優れた研究成果を教育に反映

社会連携

地域のリーダーとなる人材の輩出
健康で豊かな暮らしの実現

国際化

フィールドは地球と捉え、
教育・研究・社会連携を地球規模で推進
「知」を中心としたネットワークの創造

キャンパス環境

広大な野幌原始林と農地・緑地が
織り成す景観を大切にする
快適に過ごしながら交流する「街」創り

財務

安定した財務基盤を維持
将来投資を循環して行う財務構造の構築

組織運営

教育研究を機動的に推進できる組織
すべての教職員が熱意を持って働ける環境整備

IV

アクションプラン

1 2020 経営計画

酪農学園のミッション

「三愛精神」「健土健民」

酪農学園のビジョン

明日を切り拓く「力」を育てる教育研究の実現
—自ら探求し実践する人材を育成するフィールド—

目指す姿

実学教育を基本とする「農・食・環境・生命」教育の
リーディング・ユニバーシティ酪農学園

選択と集中による経営計画の推進

外部環境の変化に対応するため、アクションプランのうち早期
に取り組むものを経営計画として策定

- 組織目標** 学園全体のガバナンス体制整備の推進
- 財務目標** 継続的投資可能な財務構造への転換

(1)アクションプランから経営・教
学目標に向けて早期に取り組む
ものを2020経営計画として策定

(2)アクションプランと2020経営
計画については、一体として取
り組み、推進していく

(1) 学園の経営目標

学園の維持・発展

方針 学生の学びを支える経営基盤の整備

- ・人件費比率 46%以下
- ・教育研究費比率 35%以下
- ・管理経費比率 10%以下
- ・基本金組入前当年度収支差額 7億円以上 (9%以上)

(2) 大学の教学目標

質の高い・特色ある教育課程の実践

- 方針** ・入学者の確保 定員の1.2倍
- ・安定した受験者数の確保 4,000名以上
- ・明確なポリシーに基づく教育体制の確立
- ・大学満足度の向上

(3) 高校の教学目標

高大一貫を軸に、生きる力と社会に貢献する力を育て、進化を続ける学校へ

- 方針** ・志願者数 1,300名以上 (江別市内500名)
- ・入学者数 300名以上
- ・学内大学進学者数 70名以上
- ・進路実現に向けての確実な学習・活動の取り組みによる高い満足度の実現

1 2020年の経営目標と取組項目

学園の維持・発展

方針 学生の学びを支える経営基盤の整備

- ・人件費比率 46%以下
- ・教育研究費比率 35%以下
- ・管理経費比率 10%以下
- ・基本金組入前当年度収支差額 7億円以上 (9%以上)

経営課題／取組内容	具体的取組	担当部署
i バランスの取れた財政基盤の確立		
1 予算・決算制度改革の着手	(1) 計画的な予算査定と執行を目指し、事業計画書を導入	財務課
	(2) 個人研究費配分額の見直し	財務課
	(3) 実学充実費予算配分率の変更	財務課
	(4) 前年踏襲配分方式から、収入に応じた経常費と特別費の組立ての新予算制度の検討	財務課
2 学納金の検証と改定の検討	(1) 学費改定の検討	財務課
3 教育改革と連動した補助金の獲得	(1) 経常費補助金（特別補助・私立大学等改革総合支援事業等を含む）を獲得するための戦略策定	研究支援課
	(2) 私立大学等改革総合支援事業のプロジェクト答申を基に具体的なプランニングの策定	研究支援課
4 特待生制度（高校）の改正	(1) 特待生制度の改正	高校執行部
5 寄附金募集事業の着手	(1) 公益財団法人である酪農学園後援会により寄附募集事業を推進	財務課
ii ガバナンス体制の確立に向けた組織機能の整備		
1 教員人事給与制度改革	(1) 外部機関との連携による教員人事給与制度の調査・検討の推進	総務課
2 教員評価制度の導入	(1) 教員評価制度の導入に向けた調査・検討の推進	総務課
3 職員人事給与評価制度改革	(1) 目標管理制度の導入	総務課
	(2) 人事記録・履歴の蓄積と管理	総務課
	(3) 職員評価制度の検討	総務課
4 人事配置計画の策定	(1) 各部署の人数、男女比、年齢構成、職制数等の検討	総務課
	(2) 教員人員配置計画の考え方（コアカリキュラム、専任・非常勤）の整理	学務課
5 ガバナンス体制の検証・整備	(1) ガバナンス体制から見た事務組織及び職制の検討と構築	総務課
	(2) 学長補佐業務の整理	学務課
	(3) 副学長の位置付けを整理・規定	学務課
6 意思決定に関わる組織・委員会等の明確化と点検・整備	(1) 委員会統廃合へ向けて委員会規程の精査・改正	学務課
7 学生の学修・活動支援を中軸とした事務体制の整備	(1) 教務1課、共通教育開発室、学習支援室、学生課、医務室、相談室を統べる組織改編	教育センター
iii 高大一貫教育の整備		
1 学内進学人数の目標設定	(1) 学内進学人数の目標設定	学長・校長
2 獣医進学コースから獣医学類への進学人数の設定	(1) 獣医進学コースから獣医学類への進学人数の設定	学長・校長
iv 学園ブランドの確立		
1 学生募集広報体制の整備	(1) 学内入試アドバイザー制度の確立	入試課
	(2) 広報課との連携強化（広報活動、HPやSNS運営、見学者対応）	入試課
	(3) 入試広報に学生、院生、卒業生の活用（入試アドバイザーとの関連）	入試課
2 学園広報の強化	(1) 入試課との連携強化（広報活動、HPやSNS運営、見学者対応）	広報課
	(2) ロゴマークやタグラインの導入により目指す姿や理念の共通認識を醸成	広報課
	(3) 取材方法の確立（取材対象の明確化と取材ルールの策定）	広報課

2 2020年の大学の教学目標と取組項目

質の高い・特色ある教育課程の実践

- 方針**
- ・ 入学者の確保 定員の1.2倍
 - ・ 安定した受験者数の確保 4,000名以上
 - ・ 明確なポリシーに基づく教育体制の確立
 - ・ 大学満足度の向上

教学課題／取組内容	具体的取組	担当部署
i 入試戦略 安定した受験者数の確保と質の高い学生及びアドミッションポリシーに基づいた学生の受入		
1 入試制度改革の推進（大学入学共通テストへの対応）	(1) 本学独自の入試制度（学類別）の提案	入試課
	(1) 学類毎のターゲット地域や競合大学の設定により、学類別の入試広報の推進	入試課
2 学生募集広報強化	(2) とわの森三愛高校での大学紹介イベントの実施	入試課
	(3) 指定校推薦入学の実績がある高校訪問の実施	入試課
	(4) 受験生とのコミュニケーション戦術：独自相談会、サタセミ、オープンキャンパスなど、本学に興味を持つ受験生に対して直接時間をかけてコミュニケーションを図り、本学への志願につながる取組	入試課
	(5) 高校教員とのコミュニケーション戦術：訪問時のツール（大学ポスター）の充実や農業高校長会議や教員研修会、高校教員イベントへの参加により、本学のPR活動を強化する取組	入試課
ii 教育改革 カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの明確化とそのポリシーに基づき創意工夫・系統化された教育課程の提供と実践		
1 カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づく教育課程の検討・実践	(1) カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づく新カリキュラム（2019）の検討	教育センター
	(2) カリキュラムに合致したコース制の検討	教育センター
iii 学生支援 学生の学生生活満足度向上のために必要な支援、サービス、教育環境の改善・充実		
1 学生相談体制の組織化	(1) 新入生の就学支援制度の構築	学生課
	(2) 中退予防システム（業務マニュアル・年間スケジュール）の構築と把握分析	学生課
2 キャンパス環境の整備	(1) 厚生施設（学生会館）の検討・提案（学生の居場所：一人で休める場所や集まれる場所）	学生課
	(2) 課外活動施設の更新・改修計画の構築	学生課
	(3) 学生インターン・アルバイトの導入	学生課
3 クラブ・サークル活動の支援強化	(1) 学生生活援護会理事会の学生ニーズの反映方法の構築	学生課
iv キャリア教育 学生の多様な進路、就職先への支援強化と就職満足度の向上		
1 希望学生に応じた企業、公務員等への就職支援の強化	(1) 大学としての就職先ターゲットの設定	キャリアセンター
	(2) 学生への幅広い就職情報提供の強化	キャリアセンター
2 学生自ら適切な進路を見出せるキャリア教育の充実と支援の強化	(1) キャリア教育の課題抽出と内容充実	キャリアセンター
	(2) 教員の就職支援を強化するための方策の検討	キャリアセンター
	(3) キャリア教育担当の専任教員（実務家教員等）の配置の提案	キャリアセンター
	(4) インターンシップ参加率向上を目的とした啓発と受入先の開拓	キャリアセンター
3 卒業生情報の整備・活用等による支援体制の強化	(1) 卒業生アンケートの実施と企業に対する調査	キャリアセンター
	(2) 就職コーディネーター制度の検討・提案	キャリアセンター
	(3) 卒業生情報のデータベース化	キャリアセンター
v 教育・研究支援 教育の質の向上、研究成果の増加を図るための全学的体制の確立		
1 授業方法の開発研究の継続	(1) e-learning、Active Learning など新たな教育方法の調査・開発	教育センター
2 FDの全学的体制整備	(1) 教員の教育活動・資質向上に寄与する取組の提案	学務課
3 外部研究費獲得に向けた支援機能の強化	(1) 外部研究費申請にあたっての規程（学内決裁・審査方法・申請様式）の整備	研究支援課
	(2) 外部研究費獲得状況の一覧作成と公開	研究支援課
	(3) 教員への外部研究費情報の周知方法の検討	研究支援課
vi 改組 社会のニーズに応え、各学群・学類・研究科の特色を活かした改組の検討と効果的な大学運営のための組織体制の整備		
1 入学定員および学群・学类等構成の適正な配置の継続的検討	(1) 入学定員および学群・学类等構成の適正な配置の継続的検討	戦略本部
2 社会ニーズに応える学群・学類の新設	(1) 社会ニーズに応える学群・学類の新設	戦略本部

3 2020年の高校の教学目標と取組項目

高大一貫を軸に、生きる力と社会に貢献する力を育て、進化を続ける学校へ

方針 ・志願者数 1,300名以上（江別市内500名） ・入学者数 300名以上 ・学内大学進学者数 70名以上
 ・進路実現に向けての確実な学習・活動の取り組みによる高い満足度の実現

教学課題／取組内容	具体的取組	担当部署
i 入試広報戦略の確立		
1 2017年度高校改革を成功に導く広報戦略	(1) コース毎の目標入学者数と募集広報の重点項目の設定	高校執行部
ii コースの検証と再編		
1 コース制の検証	(1) コース制の検証（再編と収容定員変更）	高校執行部
iii 教育カリキュラムの構築		
1 コース別の考え方と学年別カリキュラム編成	(1) 各コースの教育目標と特色を生み出す教育カリキュラムの構築	高校執行部
2 高大一貫教育カリキュラム	(1) 高大一貫教育の内容充実と内部進学目標の設定	高校執行部
3 大学入学共通テストへの対応	(1) 大学入学共通テストへの対応（進路部での情報収集）	高校執行部
4 「高校生のための学びの基礎診断」への対応	(1) 「高校生のための学びの基礎診断」への対応（国語・数学・英語の3教科は標準単位数以上を確保）	高校執行部
iv 人員配置計画の策定		
1 学年別学級数、コース、教育カリキュラムなどに対応した教員数	(1) 新カリキュラムに対応した教員配置計画（案）の策定	高校執行部

IV

アクションプラン

2 アクションプラン2018

1 教育

取組区分	課題	取組内容	
2020経営計画	大学の教学目標	i 入試戦略	1 入試制度改革の推進 (大学入学共通テストへの対応) 2 学生募集広報強化
		ii 教育改革	1 カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づく教育課程の検討・実践
		iii 学生支援	1 学生相談体制の組織化
			2 キャンパス環境の整備
			3 クラブ・サークル活動の支援強化
		iv キャリア教育	1 希望学生に応じた企業、公務員等への就職支援の強化
	2 学生自ら適切な進路を見出せるキャリア教育の充実と支援の強化		
	v 教育・研究支援	3 卒業生情報の整備・活用等による支援体制の強化	
	vi 改組	1 授業方法の開発研究の継続	
		1 入学定員および学群・学類等構成の適正な配置の継続的検討 2 社会ニーズに応える学群・学類の新設	
	学園の経営目標	iv 学園ブランドの確立	1 学生募集広報体制の整備
	高校の教学目標	i 入試広報戦略の確立	1 2017年度高校改革を成功に導く広報戦略
		ii コースの検証と再編	1 コース制の検証
			1 コース別の考え方と学年別カリキュラム編成 2 高大一貫教育カリキュラム 3 大学入学共通テストへの対応 4 「高校生のための学びの基礎診断」への対応
		iii 教育カリキュラムの構築	1 学年別学級数、コース、教育カリキュラムなどに対応した教員数
iv 人員配置計画の策定	1 学年別学級数、コース、教育カリキュラムなどに対応した教員数		
アクションプラン 1	1 教育戦略の明示	1 学士課程・修士課程・博士課程の位置付けの確立	
	2 教育内容・方法の充実	1 点検評価と質保証に向けた取組 2 自ら学ぶ力を養成する教育方法の導入	
	3 職業人教育・社会人向け教育の推進	1 大学院における職業人教育の構築	

目標

- 1 強い「知」に裏付けられた専門教育を創り、提供します。
- 2 実学教育を通して、主体的な学修能力を育てます。
- 3 社会人として必要な「力」を養成します。
- 4 ICTを活用した教育の基盤整備を行います。
- 5 地域・文化・世代を超えて多様な人が学び合う教育環境を整備します。

具 体 的 取 組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 本学独自の入試制度（学類別）の提案	入試課	→	→	→
(1) 学類毎のターゲット地域や競合大学の設定により、学類別の入試広報の推進	入試課	→	→	→
(2) とわの森三愛高校での大学紹介イベントの実施	入試課	→	→	→
(3) 指定校推薦入学の実績がある高校訪問の実施	入試課	→	→	→
(4) 受験生とのコミュニケーション戦術：独自相談会、サタセミ、オープンキャンパスなど、本学に興味を持つ受験生に対して直接時間をかけてコミュニケーションを図り本学への志願につながる取組	入試課	→	→	→
(5) 高校教員とのコミュニケーション戦術：訪問時のツール（大学ポスター）の充実や農業高校長会議や教員研修会、高校教員イベントへの参加により本学のPR活動を強化する取組	入試課	→	→	→
(1) カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づく新カリキュラム(2019)の検討	教育センター	→	→	→
(2) カリキュラムに合致したコース制の検討	教育センター	→	→	→
(1) 新入生の就学支援方法の構築	学生課	→	→	→
(2) 中退予防システム（業務マニュアル・年間スケジュール）の構築と把握分析	学生課	→	→	→
(1) 学生インターン・アルバイトの導入	学生課	→	→	→
(1) 学生生活援護会理事会の学生ニーズの反映方法の構築	学生課	→	→	→
(1) 大学としての就職先ターゲットの設定	キャリアセンター	→	→	→
(2) 学生への幅広い就職情報提供の強化	キャリアセンター	→	→	→
(1) キャリア教育の課題抽出と内容充実	キャリアセンター	→	→	→
(2) 教員の就職支援を強化するための方策の検討	キャリアセンター	→	→	→
(3) キャリア教育担当の専任教員（実務家教員等）の配置の提案	キャリアセンター	→	→	→
(4) インターンシップ参加率向上を目的とした啓発と受入先の開拓	キャリアセンター	→	→	→
(1) 卒業生アンケートの実施と企業に対する調査	キャリアセンター	→	→	→
(2) 就職コーディネーター制度の検討・提案	キャリアセンター	→	→	→
(3) 卒業生情報のデータベース化	キャリアセンター	→	→	→
(1) e-learning、Active Learningなど新たな教育方法の調査・開発	教育センター	→	→	→
(1) 入学定員および学群・学類等構成の適正な配置の継続的検討	戦略本部	→	→	→
(1) 社会ニーズに応える学群・学類の新設	戦略本部	→	→	→
(1) 学内入試アドバイザー制度の確立	入試課	→	→	→
(2) 広報課との連携強化（広報活動、HPやSNS運営、見学者対応）	入試課	→	→	→
(3) 入試広報に学生、院生、卒業生の活用（入試アドバイザーとの関連）	入試課	→	→	→
(1) コース毎の目標入学者数と募集広報の重点項目の設定	高校執行部	→	→	→
(1) コース制の検証（再編と収容定員変更）	高校執行部	→	→	→
(1) 各コースの教育目標と特色を生み出す教育カリキュラムの構築	高校執行部	→	→	→
(1) 高大一貫教育の内容充実と内部進学目標の設定	高校執行部	→	→	→
(1) 大学入学共通テストへの対応（進路部での情報収集）	高校執行部	→	→	→
(1) 「高校生のための学びの基礎診断」への対応（国語・数学・英語の3教科は標準単位数以上を確保）	高校執行部	→	→	→
(1) 新カリキュラムに対応した教員配置計画（案）の策定	高校執行部	→	→	→
(1) 大学院改革の基本政策および学士課程教育との接続の構築	教育センター	→	→	→
(2) 自己点検評価および認証評価における改善項目の推進	学務課	→	→	→
(3) 多様な学習方法に対応した図書館機能の整備	図書館	→	→	→
(4) 大学院での社会人教育の取組項目の設定	教育センター	→	→	→

IV

アクションプラン

2 アクションプラン2018

2 研究

取組区分		課題	取組内容
2020経営計画	大学の教学目標	i 教育・研究支援	1 FDの全学的体制整備
			2 外部研究費獲得に向けた支援機能の強化
アクションプラン 2		1 自主的・自発的研究の支援	1 研究の点検・評価機能の構築
			2 若手研究者を育成する支援体制の充実
		2 附属施設の活用による研究・教育体系の確立	1 附属施設を活用した研究教育活動の推進
			2 研究成果を地域に還元する研究組織の設立
		3 公正で透明性の高い研究環境の構築	1 研究費の不正防止対策を確立
4 研究成果の社会還元	1 研究成果の集積・分析に基づく知的財産の管理・活用・発信		
5 産学連携研究の変革	1 産学連携研究支援体制の整備強化		
	2 産学官の人的交流の促進		
	3 地域ネットワークを生かした研究プロジェクトの推進		

目標

- 1 教育に連結する強い「知」を目指し、研究レベルの維持・向上を図ります。
- 2 農・食・環境・生命が連携し、有機的に組織された研究プロジェクトを推進します。
- 3 地域のニーズを捉え、研究成果を地域に還元できる研究を推進します。
- 4 世界に貢献する特色のある研究を実施します。

具 体 的 取 組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 教員の教育活動・資質向上に寄与する取組の提案	学務課	→	→	
(1) 外部研究費申請にあたっての規程（学内決裁・審査方法・申請様式）の整備	研究支援課	→	→	
(2) 外部研究費獲得状況の一覧作成と公開	研究支援課	→		
(3) 教員への外部研究費情報の周知方法の検討	研究支援課	→		
(1) 研究の点検評価と研究費への反映	学務課	→	→	
(2) 留学制度・研究時間の確保・研究費補助制度の整備	学務課	→	→	
(3) フィールド教育研究センターの機能確立と研究教育活用の施設整備	フィールド教育 研究センター	→	→	
(4) 大型医療機器等の更新および新規購入	動物医療 センター	→		→
(5) 附属動物医療センターの診療体制の充実（355日診療体制）	動物医療 センター	→		
(6) 農業環境情報センター・野生動物医学センターの附属施設化	学務課	→	→	
(7) 地域ニーズを把握した研究目標の設定	研究支援課	→		→
(8) 発注・納品・検収等の不正防止システムの確立	管財課	→	→	
(9) 学術研究コレクションの充実	図書館	→	→	
(10) 教員総覧システムの充実	図書館	→	→	
(11) 研究支援機能の組織的整備	研究支援課	→	→	
(12) 連携シーズの把握と活用	研究支援課	→	→	
(13) 人的交流ニーズの活用と支援機能の整備	研究支援課	→	→	
(14) 地域の課題・ニーズの把握と連携の推進	研究支援課	→	→	
(15) 学園と地域のネットワークの構築と推進	研究支援課	→	→	

IV

アクションプラン

2 アクションプラン2018

3 社会連携

取組区分		課題	取組内容
2020経営計画	学園の経営目標	i 学園ブランドの確立	1 学園広報の強化
アクションプラン 3		1 教育研究と社会連携	1 地域との共同研究や人材交流の推進
		2 学園シーズの積極的発信	1 建学の精神の普及
			2 公開講座やリカレント教育の拡充
3 学園ネットワークの活用	1 卒業生等のネットワーク化による連携強化（世代間の知の継承）		

4 国際化

取組区分		課題	取組内容
アクションプラン 4		1 国際的プレゼンスの向上	1 戦略的国際ネットワーク構築のための長期構想の策定
			2 世界の大学・研究機関との連携の強化
		2 留学生等派遣・受入促進のための環境整備	1 派遣・受入のためのプログラムの開発
		3 国際化に備えた教育システム等の整備	1 国際基準に向けた教育制度の整備
4 国際化に対応した環境整備		1 キャンパス整備	
		2 外国語での教育研究成果の発信	
		3 国際化に対応した事務体制の構築	

目標

- 1 地域や産業のニーズを把握し、実践的フィールドワークによる組織的な教育研究活動を通して地域や産業の活性化に努めます。
- 2 環境保全と共生社会の実現に努めます。
- 3 未来を担う子どもたちへの学習の場を提供します。
- 4 生涯学習や地域交流の場を提供します。

具 体 的 取 組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 入試課との連携強化（広報活動、HPやSNS運営、見学者対応）	広報課	→		
(2) ロゴマークやタグラインの導入により目指す姿や理念の共通認識を醸成	広報課	→	→	
(3) 取材方法の確立（取材対象の明確化と取材ルールの策定）	広報課	→	→	
(1) 地域交流協定の課題・ニーズの把握と推進	地域連携課	→	→	
(2) 建学の精神の普及推進	地域連携課	→		
(3) 環境憲章の普及推進	学務課			→
(4) リカレント教育（公開講座）の推進	地域連携課	→	→	
(5) 同窓会連合会の組織統合（酪農学園同窓会）	同窓会	→	→	
(6) 会則に基づく12地区72支部設置の推進	同窓会	→	→	
(7) 業種別組織（緑風会等）の組織拡大と連携の強化	同窓会	→		
(8) 社会連携センター・後援会・同窓会等の連携による生涯学習講座の創設	同窓会	→		

目標

- 1 世界の各地域で中核となる国際人を育成します。
- 2 途上国・新興国への留学生派遣と受入れに取り組みます。
- 3 国際的交流のネットワーク拠点を整備します。
- 4 国際化に備えた教育システムを整備します。

具 体 的 取 組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 長期構想の策定と拠点交流校の設定	国際交流課	→	→	
(2) 拠点協定校との推進項目、派遣・受入の数値目標の設定	国際交流課	→	→	
(3) 語学・習慣・文化・オリエンテーションの各プログラムの開発	国際交流課	→		
(4) 獣医学教育の国際基準に対応する教育制度の整備	教育センター	→		
(5) 英語でのサイン・バリアフリー等の課題の整理	国際交流課	→		
(6) 英語での成果公表の義務化の推進	研究支援課	→		
(7) 学園コンテンツを英文で紹介	国際交流課	→		
(8) 事務職の留学研修	総務課	→		→

IV

アクションプラン

2 アクションプラン2018

5 キャンパス環境

取組区分		課題	取組内容
2020経営計画	大学の教学目標	i 学生支援	1 キャンパス環境の整備
アクションプラン 5		1 教育研究を支える多様な機能を備えたキャンパスの整備	1 実学教育を推進するフィールドの整備 2 教育研究活動のニーズに応じたスペースの集約と配分
		2 安全・安心で環境に配慮したキャンパスの実現	1 安全・安心なキャンパスの整備
		3 情報システムの整備	1 総合情報システムの整備

6 財務

取組区分		課題	取組内容
2020経営計画	学園の経営目標	i バランスの取れた財政基盤の確立	1 予算・決算制度改革の着手 2 学納金の検証と改定の検討 3 教育改革と連動した補助金の獲得 4 特待生制度（高校）の改正 5 寄附金募集事業の着手
アクションプラン 6		1 中長期的な多様性と総合性を備えた財務戦略の構築	1 中長期の目標設定と財務ローリングによる評価 2 選択と集中による事業計画の策定・実施
		2 透明性の高い執行管理の整備	1 業務の見直しと節減目標の設定・実施 2 情報公開による信頼性の確保

目標

- 1 多様な教育に対応する学修環境と、フィールド教育を始めとする教育研究環境を整備します。
- 2 学園に集う人々が主体的に交流するゆとりある空間を配置し、キャンパスライフの充実を図ります。
- 3 学園に集う人々にとって安全・安心なキャンパス造りを行います。
- 4 緑豊かな農地や緑地を保全し、環境に優しいキャンパスの実現に努めます。

具体的取組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 厚生施設（学生会館）の検討・提案（学生の居場所：一人で休める場所や集まれる場所）	学生課	→	→	
(2) 課外活動施設の更新・改修計画の構築	学生課	→	→	
(1) 圃場活動の実態調査と学外フィールドを含めた活用の推進	フィールド教育研究センター	→	→	
(2) 研究室・教室・実験室の規格化・集約による整備	教育センター	→	→	→
(3) A3号館資料室の統合・整理	図書館	→	→	
(4) セキュリティ対策とユニバーサルデザインに沿った施設整備	施設課	→	→	
(5) 利用しやすい情報システム（UNIPA等）の整備	教育センター	→	→	
(6) ICカードを使った施設管理の推進	施設課	→	→	→

目標

- 1 将来へ向けた投資を恒常的に行うための基盤として、帰属収支差額プラスを確保します。
- 2 健全な財務構造を維持するため、投資は自己資金を中心に行います。
- 3 奨学金制度を整え、必要な財源を確保します。
- 4 学納金収入の他、寄付金・補助金・事業収入等を計画的に確保します。
- 5 業務の効率化による節減と、透明性の高い執行管理により、教育への投資効果を高めます。

具体的取組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 計画的な予算査定と執行を目指し、事業計画書を導入	財務課	→	→	→
(2) 個人研究費配分額の見直し	財務課	→	→	
(3) 実学充実費配分率の変更	財務課	→	→	
(4) 前年踏襲配分方式から、収入に応じた経常費と特別費の組立ての新予算制度の検討	財務課	→	→	
(1) 学費改定の検討	財務課	→	→	
(1) 経常費補助金（特別補助・私立大学等改革総合支援事業等を含む）を獲得するための戦略策定	研究支援課	→	→	
(2) 私立大学等改革総合支援事業のプロジェクト答申を基に具体的なプランニングの策定	研究支援課	→	→	
(1) 特待生制度の改正	高校執行部	→	→	
(1) 公益財団法人である酪農学園後援会により寄附募集事業を推進	財務課	→	→	
(1) 経営戦略に基づく中長期の投資計画・資金計画の策定	戦略本部	→	→	→
(2) 中期試算および財務評価による分析	戦略本部	→	→	→
(3) 現状把握のため懸案項目の明確化	戦略本部	→	→	→
(4) 中期目標と年度予算の数値分析と整合	戦略本部	→	→	→
(5) 動機付けや啓発活動の実施	財務課	→	→	
(6) IR情報の公開内容・方法の検討	戦略本部	→	→	→

IV

アクションプラン

2 アクションプラン2018

7 組織運営

取組区分		課題	取組内容
2020経営計画	学園の経営目標	i ガバナンス体制の確立に向けた組織機能の整備	1 教員人事給与制度改革
			2 教員評価制度の導入
3 職員人事給与と評価制度改革			
4 人事配置計画の策定			
5 ガバナンス体制の検証・整備			
6 意思決定に関わる組織・委員会等の明確化と点検・整備			
7 学生の学修・活動支援を中軸とした事務体制の整備			
		ii 高大一貫教育の整備	1 学内進学人数の目標設定
			2 獣医進学コースから獣医学類への進学人数の設定
アクションプラン7		1 点検評価に基づく組織運営	1 短期・中長期の目標設定による組織機能の向上
			2 自己点検評価や第三者評価および学生評価の組織的活用

目標

- 1 学園全体の職務権限と責務を明確に設定し、迅速に実行する組織運営を行います。
- 2 学長・校長が強いリーダーシップを発揮できる環境を整えます。
- 3 恒常的に自己点検評価と第三者評価を行い、計画・実行・検証・改善により、常に組織体制を見直します。
- 4 国際的視野を備え、情報化社会に対応するための能力開発を行うとともに、中長期の人事計画を策定します。
- 5 自ら、責任・やりがい・信頼をもって行動できる組織体制を整備します。

具 体 的 取 組	推進担当	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 外部機関との連携による教員人事給与制度の調査・検討の推進	総務課	→	→	
(1) 教員評価制度の導入に向けた調査・検討の推進	総務課	→	→	
(1) 目標管理制度の導入	総務課	→	→	
(2) 人事記録・履歴の蓄積と管理	総務課	→	→	
(3) 職員評価制度の検討	総務課	→	→	
(1) 各部署の人数、男女比、年齢構成、職制数等の検討	総務課	→	→	
(2) 教員人員配置計画の考え方（コアカリキュラム、専任・非常勤）の整理	学務課	→	→	
(1) ガバナンス体制から見た事務組織及び職制の検討と構築	総務課	→	→	
(2) 学長補佐業務の整理	学務課	→	→	
(3) 副学長の位置付けを整理・規定	学務課	→	→	
(1) 委員会統廃合へ向けて委員会規程の精査・改正	学務課	→		
(1) 教務1課、共通教育開発室、学習支援室、学生課、医務室、相談室を統べる組織改編	教育センター	→	→	
(1) 学内進学人数の目標設定	学長・校長	→	→	
(1) 獣医進学コースから獣医学類への進学人数の設定	学長・校長	→	→	
(1) 教育改善に関する目標設定と実行スケジュールの作成	戦略本部	→	→	→
(2) 各部署の事業毎のPlan・Do・Check・Actionサイクルの実施	戦略本部	→	→	→

学校法人 酪農学園

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

TEL : 011-386-1111(代表)